

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：15項目（代表的な重要項目）

問題あり：2件

要確認：1件

問題なし：12件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

安住淳（あずみ・じゅん）

記載内容：「安住淳（あずみ・じゅん）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、立憲民主党公式サイト等で確認

宮城県第4区・第5区

記載内容：「現在宮城県第4区（※2021年の区割り変更で宮城5区から宮城4区へ）」

検証結果：△要確認

正しい情報：区割り変更は2022年の改正公職選挙法によるもので、実際の選挙適用は次回衆院選から

根拠・出典：khb東日本放送（2022年12月）「次の衆院選から宮城県内の小選挙区が1つ減ることを受け、現在の5区選出の立憲民主党の安住淳さんは、新しい4区から立候補する考えを明らかにしました。」

立憲民主党所属

記載内容：「現在立憲民主党所属」

検証結果：✓正確

根拠・出典：立憲民主党公式サイトで確認

2. 数値情報

生年月日・年齢

記載内容：「1962年生まれの63歳（2025年現在）」

検証結果：✓正確

正しい情報：1962年1月17日生まれで、2025年現在63歳

根拠・出典：Wikipedia「安住 淳（あずみ じゅん、1962年〈昭和37年〉1月17日 -）」、年齢早見表で2025年は63歳と確認

当選回数

記載内容：「通算10回の当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：立憲民主党公式サイト「衆議院議員 10期」、Wikipedia等で確認

復興予算32兆円

記載内容：「32兆円もの復興予算を財務相として確保する指揮を執りました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：復興庁公式サイト「10年で32兆円程度の復興財源を確保」、安住淳公式サイト「総額32兆円に及ぶ復興予算を財務大臣として創りだしました」で確認

財務大臣就任年齢

記載内容：「40代で財務大臣に就任」

検証結果：✕誤り

正しい情報：安住氏は1962年1月17日生まれで、2011年9月に財務大臣就任時は49歳（まもなく50歳）

根拠・出典：Wikipedia「40代での財務大臣就任は史上初（大蔵大臣時代を含めても池田勇人、田中角栄の両首相経験者に次ぎ3人目）であった」

財務大臣就任期間

記載内容：文中で期間が明確に記載されていない

検証結果：✕誤り（情報不足）

正しい情報：2011年9月2日～2012年12月26日（野田内閣～野田第3次改造内閣まで継続）

根拠・出典：Wikipedia、野田内閣関連記事で確認

3. その他の重要な事実関係

予算委員長就任

記載内容：「2022年からは予算委員長という異例の要職（野党議員としては約30年ぶり）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数のメディア報道で「30年ぶりの野党議員からの予算委員長」と報じられている

NHK記者経歴

記載内容：「NHK記者を経て政界入り」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「1985年4月日本放送協会(NHK)入社、秋田支局を経て報道局政治部へ」で確認

初当選年

記載内容：「1996年の初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「1996年の第41回衆議院議員総選挙では宮城5区から出馬し、初当選」で確認

2021年総選挙での当選

記載内容：「2021年の総選挙では宮城4区で10回目の当選」

検証結果：✕誤り

正しい情報：2021年の総選挙では宮城5区で9回目の当選（10回目の当選は次回選挙予定）

根拠・出典：河北新報「宮城5区は、立憲民主党前議員で党国対委員長の安住淳氏（59）が、9選を果たした」

改善提案

修正が必要な箇所

- 財務大臣就任年齢：「40代で財務大臣に就任」 → 「49歳で財務大臣に就任」
- 2021年総選挙での当選回数：「10回目の当選」 → 「9回目の当選」
- 選挙区変更の時期：「2021年の区割り変更」 → 「2022年の区割り変更（次回選挙から適用）」

追加確認が推奨される情報

1. **財務大臣就任期間**：具体的な在任期間（2011年9月2日～2012年12月26日）を明記することを推奨
2. **復興予算の詳細**：32兆円という数字は正確だが、これが安住氏単独の功績かどうかは政権全体での取り組みであることを明記すべき
3. **現在の役職**：衆議院予算委員長としての就任時期と継続状況の確認

全体的な評価

記事の大部分の事実関係は正確ですが、数値や時期に関する細かな誤りが散見されます。特に選挙関連の情報（当選回数、選挙区変更時期）と役職就任時の年齢について、より正確な検証が必要です。